

令和7年10月

小学部4年生 19名(1名3学期休学・1名後期復学)

授業者:石垣由美

単元名	未来につなぐ工芸品	6時間
単元の目標	1. 日本各地の工芸品を調べることを通して、日本や工芸品・民芸品についての知識を深める 2. 調べ学習の発表を通して、相手に的確に伝える力を伸ばしていく。 3. 説明や発表を聞き、内容を理解することができる。 4. 教科書の学習を通して、語彙を広げ内容を理解する力を伸ばす。	
日本語の目標	1. 聞き手を意識した声量や話の速さで、聞き手に伝える内容を十分に伝えることができる。 2. 要約を意識した発表をすることで、話の内容を簡潔に伝えることができる。 3. 発表を聞き、内容を十分に理解しようとする姿勢を身につける。 4. 語彙の理解を進めることによって、豊かな日本語の基礎力を広げる。	
学習課題	調べた内容を簡潔に要約し、伝えたい事柄を十分に伝える事が出来る。	
主な学習活動	1. 工芸品についての言葉理解を深め言語的背景を理解する(知識・技能) 2. 伝統的な工芸品を実際に見て日本の工芸品について学習する(知識・技能) 3. 工芸品の調べ学習についての取り組み方を学ぶ(知識・技能) 4. 工芸品の調べ学習を発表する(思考・判断・表現) 5. 発表を注意深く聞き、工芸品についての理解を深める(主体的に学習に取り組む態度)	
生徒観	生徒19名中、永住者は18名。1名のみ、駐在家庭。	
課題解決に対する教師の工夫	◎小学4年生であること、また、多くの子どもたちがオーストラリアで生まれ育っているため、日本や工芸品について自然に楽しく理解を深めると共に、日本語での表現に自信をもって取り組めるよう配慮する。 ◎受動的な学びとならず、子ども達が主体的に取り組めるように工夫をすることで、日本語を含め、日本についての学習を深められるように配慮する。 ◎事前調べ学習や教科書学習を通して、発表での語彙や教科書の語彙を習得できるように配慮する。 ＜具体的な指導配慮＞ ①子ども達が言語イメージを豊かに持てるように地域と工芸品についての学習 教員の発表を通して、子ども達が実際に工芸品と発表の学習のポイントを掴む。 ②子ども達の主体的な発言の機会をクラス全体に広げながら、クラス(小集団)での発言に自信を持って臨めるように計画する。	

<単元計画 6 時間>

日時	校内週数	学習内容・学校内活動等	子ども達の活動	学習のポイント
事前準備	6 週目	グループ作り	墨についての知識確認・好きな漢字選び	
8/30 1 時	7 週目	・オーストラリアや日本の工芸品についての知識・理解を深めよう。	1. オーストラリアのお土産や日本のお土産について考え、クラスでの情報交換を行う。(工芸品の言葉理解) 2. 発言者の意見について、感じたことや質問を通して更に内容を深める。 3. 教員が工芸品の発表を行い、子ども達は工芸品と発表の仕方を学習する。 担任発表『奈良墨』 説明を聞いて、奈良墨や工芸品についての理解を深める。 4. 調べ学習の内容を自分や相手に分かる言葉に変えながら説明をすることの重要性について学習	◎生徒たちが自由に自分の意見を言う事が出来る(思考・判断・表現) ◎他の生徒の意見を聞きながら、工芸品についての理解を深める(主体的に取り組む態度) ◎要約的発表の仕方について言葉や構成について学ぶ(知識・理解)(聞く力)
9/6 2 時	8 週目	伝統工芸に通じるものを感じてみよう	1. 体験学習 墨汁・墨・書道を体験してみよう 固形墨と墨汁の違い 『書道についての基礎知識』 ・日本独特の「道」についての学び ・筆の入れ方、払い方、扱い方など 2. ホリデー中の調べ学習と発表の仕方についての学習	◎民芸品・工芸品の言葉と実際のイメージを体験(知識・理解) ◎グループ作り(コミュニケーション・協調性)
9/13	9 週目	お祭り		
ホリデー		各地の工芸品調べ	ホリデー中の宿題＝調べ学習	
10/11	1 週目	教科書等配布・記名		
10/18 3 時	2 週目	工芸品調べ学習発表大会①	1. 班ごとに順番に調べた内容について発表しあう 2. 最後に質問コーナーがあり、質問について班ごとで答える(ポイント制) 3. ポイント集計	◎大きな声で、聞き手に伝わりやすい速さで発表をする(話す力・表現する力) ◎発表内容を聞き理解する(聞く力) ◎班で協力し合って考える

日時	校内 週数	学習内容	子ども達の活動	学習のポイント
10/25 4 時	3 週目	工芸品調べ学習発表 大会② ビデオ撮り	*同上	*同上
11/1 5 時	4 週目	教科書学習	1.教科書を読んで、語句を確認することにより、内容の理解を深めていく 2.語句の復習	◎クラス全員で音読を進め、語句や内容について理解する(読む力・理解する力)
11/8 6 時	5 週目	教科書学習	1.説明文の構成を復習する ・段落分け ・はじめ・中・終わり ・説明するときに使う言葉の役割 2.言葉の意味をプリントで確認	◎クラスで音読を進め、語句や内容について理解する(読む力・理解する力)
11/15	6 週目	『4 年生工芸品博士 クイズ大会』	1.今まで学習した言葉や工芸品などについて、グループで協力してクイズに答える	総合的学習 今まで学習したことを、クラスで楽しみながら復習していく。

評価（教師用）

評価	知識・技能 (リサーチ力)	思考・判断・表現 (プレゼン力)	質問力 (聞いた内容をさらに深める)	解答力 (基礎的知識を概念形成)	語彙習得力 (語彙理解)
十分に満足	調べた内容に、人を引き付ける工夫がある	調べた内容を分かりやすく、聞き手を引き付ける表現ができる。	話を聞いて、内容を理解した質問ができる	学んだ内容を自分の言葉を使ってまとめる事が出来る	語彙の理解をしながら内容理解が十分にできる。
おおむね満足	調べた内容を、自分自身が十分に理解している	調べた内容を分かりやすく聞き手に伝えることができる	気づいたことについて質問ができる	学んだ内容を学んだ言葉を使いながらまとめる事が出来る。	内容の理解ができる
努力を要する	調べた内容に学習ポイントが入っている	調べた内容を発表することができる。	質問をすることができる	言葉は少ないが、まとめようと努力できる	教科書を読む事が出来る

評価（生徒用）

みんなの目標 ^{もくひょう}	リサーチする力 ^{ちから}	プレゼンの力 ^{ちから}	質問する力 ^{しつもん ちから}	答える力 ^{こた ちから}	言葉が分かる力 ^{ことば わ ちから}
とても頑張った ^{がんば}	聞いていて ^き 「なるほど」と思 ^{おも} う内容の調べ ^{ないよう しら} 学習 ^{がくしゅう}	説明が面白くて ^{せつめい おもしろ} わかりやすい	話を聞いて、 ^{はなし き} 内容を理解した ^{ないよう りかい} 質問ができる ^{しつもん}	分かったことを 自分の言葉を使 ^{じぶん ことば つか} ってまとめる事 ^{こと} ができる	言葉の理解をしな ^{ことば りかい} がら内容を十分 ^{ないよう じゅうぶん} に理解できる。 ^{りかい}
頑張っている ^{がんば}	調べた事を自分 ^{しら こと じぶん} が理解している ^{りかい}	調べた事を大き ^{しら こと} な声で分かりや ^{こえ} すく発表できる ^{はっぴよう}	気づいたことに ^き ついて質問がで ^{しつもん} きる	分かったことを 調べた言葉を使 ^{しら ことば つか} ってまとめる事 ^{こと} ができる。	内容の理解がで ^{ないよう りかい} きる
もう少し努力し ^{すこ どりよく} よう	調べ学習を頑張 ^{しら がくしゅう がんば} った	調べた事を発表 ^{しら こと はっぴよう} できる。	質問をすること ができる	まとめようと 頑張れる ^{がんば}	教科書を読む事 ^{きょうかしょ よ こと} ができる